



【記者発表資料】  
令和7年2月5日  
九州地方整備局

## 「2025 海域港湾空港技術報告会(第12回)」の開催

九州地方整備局では、海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、民間企業、大学などと産学官の協働による技術開発を行っているところです。

今般、技術開発の促進に寄与することを目的とし「2025 海域港湾空港技術報告会(第12回)」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

本報告会では、全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新技術の情報等を産学官でタイムリーに共有し、技術開発の促進に努めます。

### 記

1. 日 時 令和7年2月28日(金) 13:20~17:30  
(12:20 開場)
2. 開催方式 会場とWEB(Microsoft Teams)によるハイブリッド方式  
会場: TKP ガーデンシティ PREMIUM 博多駅前 3F (定員 120名)  
(福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目2-1)
3. 主 催 九州地方整備局 港湾空港部
4. プログラム 別紙1のとおり
5. その他 取材を希望される方は、別紙2および別紙3をご確認下さい。  
報告会の様子を3月5日~28日の間、九州地方整備局港湾空港部のHPで動画配信する予定です。  
(URL: <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/gizyutuhoukokukai/index.html>)

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課

課 長 宮崎 啓司  
課長補佐 川端 稔教

TEL: 092-418-3380

# 2025 海域港湾空港技術報告会(第12回)

(地盤工学会 CPD プログラム認定)

海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、近年、民間企業、大学、国など産官学の協働による技術開発が全国各地で活発に行われています。

本報告会は全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新技術の情報等を産学官でタイムリーに共有することで、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与することを目的として開催するものです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

**日時** 2025年2月28日(金) 13:20~17:30

(CPD 交付方法は閉会後にご案内します。)

**開催方法** 会場とWEB (Microsoft Teams) によるハイブリッド方式

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 博多駅前 3F (定員 120 名)

受付開始：12 時 20 分～

**主催**：九州地方整備局港湾空港部

**共催**：九州大学大学院工学研究院、(公社)地盤工学会九州支部、(一財)沿岸技術研究センター、(一財)港湾空港総合技術センター、特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ、博多港ふ頭株式会社、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)港湾空港技術コンサルタント協会、九州港湾空港建設協会連合会

## 問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課

担当：宮崎、川端、樺山

TEL 092(418)3380

# 2025 海域港湾空港技術報告会(第12回) プログラム

開会式 13:20～13:25 <司会> 工藤 寛之 (九州地方整備局 港湾空港部 港湾空港企画官)

- 開会挨拶 坂井 功 (九州地方整備局 副局長)

第Ⅰ部 13:25 ～ 15:45 全国の先進的土木技術の紹介・注目度の高い技術的取り組みの紹介

- 楯形鋼矢板壁工法の設計手法の開発 令和5年度土木学会賞 技術賞 受賞  
児島 正明 (九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所 所長)  
～ 質疑応答 ～
- 海上流出油の移流及び拡散に関するリアルタイムシミュレーションシステム(OILPARI) 令和5年度土木学会賞 技術開発賞 受賞  
松崎 義孝 (国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 海洋環境制御システム研究領域海洋汚染防除研究グループグループ長)  
～ 質疑応答 ～
- フラップゲート式可動防波堤の開発 令和5年度土木学会賞 技術開発賞 受賞  
下迫 健一郎 (一般財団法人 沿岸技術研究センター 審議役)  
～ 質疑応答 ～
- ナローマルチビーム・レーザスキャナ・UAVを用いた港湾施設の効率的な三次元計測 第6回インフラメンテナンス大賞 港湾・海岸 優秀賞 受賞  
田邊 光一 (国際航業株式会社 河川海洋部)  
～ 質疑応答 ～  
～ 休憩 ～

第Ⅱ部 15:55 ～ 17:25 産官学の技術展望

- 能登半島地震で被災した石川県飯田港の復旧に向けた遠隔設計支援  
古家 雅彦 (九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所 副所長)
- 火砕流堆積物を用いた建設材料の開発 -港湾構造物への適用に向けて-  
福永 隆之 (九州大学工学研究院 社会基盤部門 助教)
- 日本の港湾が抱える課題とDXによる対応策  
高橋 琢磨 ((株)日本港湾コンサルタント 東京支店 港湾DX推進部長)
- 作業船の脱炭素化・水素発電機の導入報告  
伊藤 義将 ((株)本間組 土木事業本部 技術部 技術企画課長)  
～ 質疑応答 ～

閉会式 17:25 ～ 17:30

- ◆ 閉会あいさつ 濱田 秀則 (九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 教授)

## 取材申込書

会場にて取材を希望する場合は、この様式により、下記アドレスまでメールにてお申し込み下さい。 申込み締切は、2月20日（木）12:00迄です。

申込み先 kabayama-s897u●mlit.go.jp（●を@にして送信）

<b>所属クラブ（所属するクラブに○をつけて下さい）</b>	
・国土交通省九州記者会	・九州専門建設記者クラブ
・九州大学記者クラブ	・その他（ ）
<b>会社名及び部署名</b>	
<b>取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います。）</b>	
① （代表者）	_____
②	_____
③	_____
④	_____
<b>連絡先（代表者の連絡先）</b>	

上記のとおり取材を申し込みます。

九州地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

あて

## 取 材 要 領

### 1. 事前申し込みについて

当日取材を希望される方は、九州地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課まで、メールにて事前申込みをお願いします。 事前申込みが無い場合は、取材ができませんのでご注意ください。

(1) 申込期日は、厳守でお願いします。(2月20日(木) 12:00必着)

- ・ 申込先 (技術報告会専用アドレス) kabayama-s897u●mlit.go.jp  
(●を@にして送信)

※申込期日に間に合わない場合は、取材ができない場合があります。

(2) 別紙様式に以下の事項を記載して下さい。

- ・ 所属クラブ名
- ・ 会社名及び部署名
- ・ 取材者の役職・氏名 (取材者全員の役職・氏名を記載願います。)

### 2. 当日の受付及び留意事項について

- ・ 受付場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 博多駅前 3F  
福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目2-1
- ・ 受付時間：12:20～

#### <留意事項>

- ・ 取材中は、身分証明書、自社腕章を必ず着用願います。
- ・ 会場内では、「報道関係者席」にご着席頂くとともに、撮影は「報道関係者席」からお願いします。
- ・ 会場の都合により、会場内で電源をとることはできません。パソコン等を使用される場合は、バッテリー等をご持参願います。
- ・ 質疑については、担当者が現地にて対応いたします。
- ・ その他、取材にあたっては、担当者の指示に従って下さい。